

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 <small>とやまたかやま</small> 富山高山連絡道路 一般国道41号 <small>いのたににれはら</small> 猪谷榆原道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：富山県富山市 <small>いのたに</small> 猪谷 至：富山県富山市 <small>にれはら</small> 榆原	延長		7.4km	
事業概要 ：					
国道41号は、愛知県名古屋市と富山県富山市を結ぶ重要な幹線道路である。しかしながら、当該事業区間は大雨等による事前通行規制や土砂崩れ等による通行止が発生しており、国道41号の機能を代替する路線がないため、大幅な迂回や通行障害が強いられるほか、集落が孤立する恐れがある。また、急カーブ・急勾配区間が存在するため、冬期は登坂不能車による交通障害のほか、事故の危険性も高いため、地域住民の生活にも大きく影響を与え、安心・安全面で不安が生じている。 猪谷榆原道路は、富山県富山市と岐阜県高山市を結ぶ地域高規格道路「富山高山連絡道路」の一部を形成し、事前通行規制区間（連続雨量120mm）の回避、急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害の回避、災害に強い幹線道路ネットワークの形成等を目的とした延長7.4kmの2車線のバイパス事業である。					
H9年度事業化		H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H13年度用地着手	
				H14年度工事着手	
全体事業費	約300億円	事業進捗率	66%	供用済延長 <small>(うち現道活用区間)</small>	5.8km (2.8km)
地域の防災面の課題 ：					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度に実施した防災点検で、緊急に対策が必要とされた箇所が6箇所存在（猪谷～片掛：2箇所、庵谷～榆原：4箇所）。線形不良箇所（R\geq150）は4箇所、縦断勾配が5%以上の箇所が2箇所存在。 ・過去30年間においては、雨量規制や土砂崩れ、登坂不能車の発生等により、年間約1.4日の通行止めが発生しており、道路を遮断する災害が発生した場合は、2集落（207人）が孤立する恐れがある。 ・このため、富山市細入地域（人口：732人）の日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、富山市からも改善の要望が出されているなど地域の喫緊の課題となっている。 					
課題を踏まえた対策・事業内容 ：					
<ul style="list-style-type: none"> ・事前通行規制区間等を回避するため、現道のうち4.6km区間を別線整備（橋梁により神通川右岸へのバイパス整備）。 ・現道が存在する左岸は、神通川とJR高山線に挟まれているほか、現道両脇には急峻な斜面が連続しており、左岸側で整備する場合は大規模なトンネル整備が必要となることから、一部右岸へのバイパス整備とした。 					
事業の効果等 ：				費用 ： <small>(残事業)/(事業全体)</small>	
○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (212億円(残事業=86億円)) ○災害による被害の回避 ・集落孤立の回避(0.9億円) ・救命救急施設へのアクセス向上(0.7億円) ・バス路線の利便性・信頼性向上 ・日常生活圏の各市・町間の連携を強化 ・緊急通行確保路線としての信頼性が向上 ○地域住民の不安解消 ・不安感の解消(通行止めによる迂回の不安等)				84/319 億円 (事業費：81/302 億円 維持管理費：3.3/17 億円)	
関係する地方公共団体等の意見 ：					
地域高規格道路富山高山連絡道路は、高規格道路である中部縦貫自動車道、北陸自動車道並びに東海北陸自動車道とともに、信頼性の高い道路ネットワークを形成する極めて重要な道路で、富山市、飛騨市、高山市の3市を繋ぎ、観光や産業経済の発展など、更なる連携の強化が期待されるため、富山市から猪谷榆原道路の整備促進の要望を受けている。 県知事の意見： 事業継続に同意する。なお、今後とも、コスト縮減に努め、早期に効果が発現されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。					
事業評価監視委員会の意見 ：					

審議した結果、再評価及び対応方針（原案）の「事業継続」は妥当である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成17年4月1日、市町村合併により「細入村」が「旧富山市」と合併し「富山市」となる。
- ・平成20年7月5日、東海北陸自動車道が飛騨清見IC～白川郷ICの開通により全線開通。

事業の進捗状況、残事業の内容等

【執行済み額】事業費：199億円（進捗率66%） うち用地費・補償費：19億円（83%）
富山市猪谷～同市片掛間（延長1.6km）の完成2車線整備

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

富山市猪谷～同市片掛間（延長1.6km）については、早期の全線供用に向け、交通状況を勘案しつつ事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

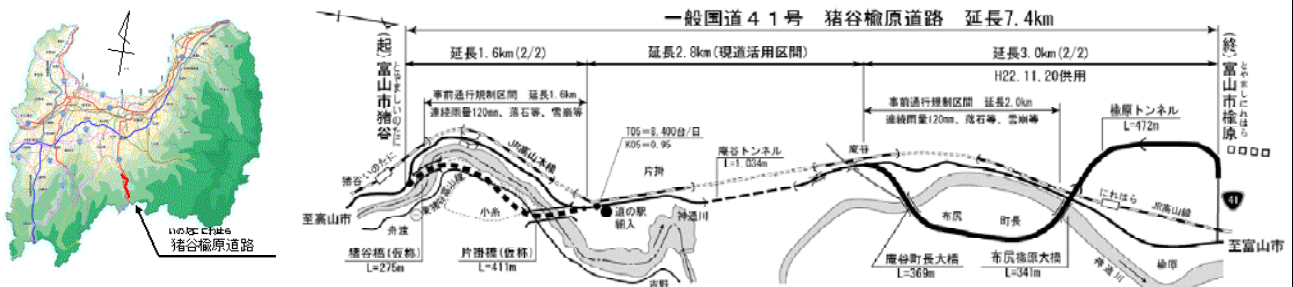
残事業区間の施工において、本線の縦断線形の見直しによる盛土量の低減等及び橋梁の高欄形式を鋼製から壁高欄への変更等により10億円の事業費の削減を図る。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性は変化なく、緊急に対策を実施する必要があるため。

事業概要図



- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。